

	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
基本指標番号						
修正がある場合						

- この調査は、報告する**義務がある**とても重要な調査です。ご協力をお願いいたします。
- この調査票は、**統計の作成目的以外には使用せず**、得られた個々の結果についても、外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、**秘密を厳守することが法律により定められています**ので、ありのままをご記入ください。
- **調査票は、パソコンやスマートフォン、タブレットでも回答できます。**
詳しい回答方法は、「**オンライン調査ガイド**」をご覧ください。

- 記入は、別冊『記入の仕方』を見ながら記入ください。
 - 該当しない項目は空欄としてください。
 - 黒色の鉛筆またはシャープペンシルで記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

マークの記入例

数字の記入例

○「良い例」のように丁寧に
なぞってください。

○1マスに1つずつ枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。
○マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

○ 良い例

✓ ✕

○ 悪い例

○ ✎

1

2

3

11

2

3

4

5

- 本調査票については、農業又は林業を経営しておられる方に記入していただくものです。記入に当たっては、以下の区分にしたがって、必要な項目に記入をお願いします。

区 分	記入していただく項目
農業のみを経営しておられる方	【１】～【９】、【１５】
林業のみを経営しておられる方	【１】～【２】、【１０】～【１５】
農業と林業の両方を経営しておられる方	【１】～【１５】

【1】経営体の概要

すべての方が記入する項目です。

1 経営形態

経営形態について、該当するもの **1つに必ず記入** してください。

101	法人でない		法人である							102	法人番号 (13桁)		
	個人経営 (世帯)	任意団体	農事組合法人	株式会社	合名・合資会社	合同会社	相互会社	各種農協	各種団体 森林組合 その他の各種団体			その他の法人	地方公共団体・財産区
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

次ページ【2】経営主へ

- 特例有限会社は株式会社に該当します。
- 法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
- 個人のマイナンバー (12桁) を誤って記入しないようご注意ください。

2 世帯の状況 (個人経営の方のみ)

(1) 世帯としての所得は、**自営農業と自営農業以外の仕事**でどちらが多いですか。該当するものに **必ず記入** してください。

103	104
自営農業による所得が多い	<input type="checkbox"/>
自営農業以外の所得が多い (不動産による所得は含み、年金は含まない。)	<input type="checkbox"/>

- 林業による所得が多い方は、「自営農業以外の所得が多い」に記入してください。

(2) すべての世帯員の人数を記入してください。(農業又は林業に従事していない人も含みます。)

		男 (人)		女 (人)				男 (人)		女 (人)	
14歳以下 (H22.2生以降)	107			108				50～54歳 (S45.2～S50.1生)	123		124
15～19歳 (H17.2～H22.1生)	109			110				55～59歳 (S40.2～S45.1生)	125		126
20～24歳 (H12.2～H17.1生)	111			112				60～64歳 (S35.2～S40.1生)	127		128
25～29歳 (H7.2～H12.1生)	113			114				65～69歳 (S30.2～S35.1生)	129		130
30～34歳 (H2.2～H7.1生)	115			116				70～74歳 (S25.2～S30.1生)	131		132
35～39歳 (S60.2～H2.1生)	117			118				75～79歳 (S20.2～S25.1生)	133		134
40～44歳 (S55.2～S60.1生)	119			120				80歳以上 (S20.1生以前)	135		136
45～49歳 (S50.2～S55.1生)	121			122							

【2】経営主 すべての方が記入する項目です。

1 経営主の性別と出生年月を記入してください。

141	142	143	144
性別	出生の年月		
男 女	大正 昭和 平成	年	月
✓	✓	✓	✓

2 当該経営は「自ら開始した」と「経営を引き継いだ」のどちらですか。また、開始または引き継いで経営主となってからの年数は何年ですか。
それぞれ該当するもの **1つに必ず記入** してください。

145	146
自ら開始した	1年未満
経営を引き継いだ	1～4年
	5～9年
	10年以上

○「自ら開始した」とは、新規参入や独立をいい、法人化などの組織形態の変更は含みません。

3 過去1年間に経営主が農作業及び林業作業に従事した日数（管理労働を含む。）について、それぞれ該当するもの **1つに必ず記入** してください。

		1 ～ 29 日	30 ～ 59 日	60 ～ 99 日	100 ～ 149 日	150 ～ 199 日	200 ～ 249 日	250 日 以上	従事 して い な い
両方記入	農作業に従事した日数	147	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	林業作業に従事した日数	148	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

○ 従事した日数には、経理事務などの管理労働も含まれます。
○ 従事した日数は、1日を8時間として計算してください。
(例) 1日4時間ずつ → 2日で1日分
毎日1時間ずつ → 8日で1日分

4 過去1年間の経営主の主な状況について、該当するもの **1つに必ず記入** してください。

個人経営の方が記入する項目です。		149
し 仕 て 事 を 主 に	主に自営農業を行った※	✓
	主に自営林業を行った※	✓
	主に農業・林業以外の自営業を行った	✓
	主に他に勤務した※	✓
主に学生（研修を含む。）であった		✓
主に家事・育児 その他であった		✓

個人経営以外の方が記入する項目です。		150
主に農業に従事		✓
主に林業に従事		✓
主に農業・林業以外の事業に従事		✓

※個人経営の場合、他に雇われて主に農業（林業）を行った場合は、「主に他に勤務した」に記入してください。

5 農業経営及び林業経営を引き継ぐ後継者（予定を含む。）を確保していますか。また、**5年以内**に後継者に引き継ぐ意向はありますか（後継者の確保の有無に関わらず意向を記入してください。）。

なお、農業又は林業のいずれかを経営していない場合は、「経営していない」のみに記入してください。

		151 農 業	152 林 業
1 つ に 必 ず	親族	✓	✓
	親族以外の経営内部の人材	✓	✓
	経営外部の人材	✓	✓
確保していない（できていない）		✓	✓
必 ず	5年以内に後継者に引き継ぐ意向がある	✓	✓
	5年以内に後継者に引き継ぐ意向がない	✓	✓
経営していない		✓	✓

○「親族」とは、経営主の3親等内の親族をいいます。（同居か別居か、また、現に経営に参画しているかは問いません。）
○「親族以外の経営内部の人材」とは、親族以外で当該経営の役員・構成員及び雇用者をいいます。
○「経営外部の人材」とは、上記以外の方をいいます。

【3】農業の労働力（経営主を除く。） 農業を行っている方が記入する項目です。

- 1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数（農業生産関連事業のみに従事した人は含めません。）
過去1年間に農作業に従事した人（**経営主を除く。**）の実人数を記入してください。
（それぞれの人数を記入した上で、2～5についても記入してください。）

○「経営内部の労働力」とは、個人経営の場合は満15歳以上の世帯員、会社等法人の場合は役員、任意団体の場合は構成員をいいます。ただし、役員会に出席するだけの者や1日も従事しなかった者は含めません。

		男（人）		女（人）	
経営内部の労働力（ 経営主を除く。 ）		202		203	
雇用労働力	常雇い （ 農作業のために7か月以上の契約 で雇った人）	205		206	
	臨時雇い （日雇、季節雇、手伝い、研修生など）	208		209	
	そのうち、 1か月以上の契約 で雇った人	211		212	

個人経営の方は2、個人経営以外の方は3も記入

4に内訳も記入
5に従事日数の合計も記入

5に従事日数の合計も記入

2 経営内部の労働力の詳細（個人経営の方のみ）

上記「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した**世帯員**について、1人ずつ以下に記入してください。

※1「従事した日数」には、1日を8時間として計算してください。
(例)1日4時間ずつ → 2日で1日分

※2「方針決定」は、以下をいいます。

- ・生産品目、飼養畜種の選定
- ・規模、出荷先の決定
- ・機械・施設などへの投資、資金調達
- ・農地借入、農作業受託の決定
- ・雇用の決定、管理

【続柄番号】
01:配偶者 04:父母 07:祖父母
02:子 05:配偶者の父母 08:孫
03:子の配偶者 06:兄弟姉妹 09:孫の配偶者
10:その他

213		214		215		216		217		218							219			220		
経営主との続柄		性別		出生の年月						過去1年間で農作業に従事した日数(管理労働を含む。) ※1							過去1年間の主な状況			経営主とともに農作業の方針決定に関わっている ※2		
続柄番号を記入		男	女	大正	昭和	平成	年	月	1	30	60	100	150	200	250	仕事を主にしていた						
									日	日	日	日	日	日	以上	主に自営農業を行った	主に農業以外の自営業を行った	主に他に勤務した				
1		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
2		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
3		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
5		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
6		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
7		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

8人以上いる場合は19ページに続きを記入してください。

3 経営内部の労働力の詳細（個人経営以外の方のみ）

(1) 4ページ「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「経営内部の労働力(202 及び 203)」に人数を記載した**役員・構成員**のうち、**農作業に 60 日以上従事した方**について、1 人ずつ以下に記入してください。

※「従事した日数」には、
1 日を 8 時間として計算してください。
(例)1日4時間ずつ
→ 2日で1日分

												225					226														225					226								
												過去1年間で農作業に従事した日数(管理労働を含む。)*					過去1年間の主な状況														過去1年間で農作業に従事した日数(管理労働を含む。)*					過去1年間の主な状況								
221		222			223		224		221		222			223		224		221		222			223		224		221		222			223		224										
性別		出生の年月							性別		出生の年月							性別		出生の年月							性別		出生の年月															
男	女	大正	昭和	平成	年	月	日	日	日	日	以上	主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事	男	女	大正	昭和	平成	年	月	日	日	日	日	以上	主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事	男	女	大正	昭和	平成	年	月	日	日	日	日	以上	主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事			
1														21																														
2														22																														
3														23																														
4														24																														
5														25																														
6														26																														
7														27																														
8														28																														
9														29																														
10														30																														
11														31																														
12														32																														
13														33																														
14														34																														
15														35																														
16														36																														
17														37																														
18														38																														
19														39																														
20														40																														

41 人以上いる場合は 20 ページに続きを記入してください。

(2) (1)に記入した方以外で、過去 1 年間に**農作業の従事日数が 60 日未満の方**について、実人数を記入してください。ただし、役員会に出席するだけの者や 1 日も従事しなかった者は含めません。

男 (人)			女 (人)		
228			229		

4 常雇いの詳細

4 ページ「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」の「常雇い(205 及び 206)」に人数を記載した過去1 年間に農作業のために常雇いした人（あらかじめ **7 か月以上の契約で雇った人**）について、男女・年齢別に実人数を記入してください。

		男 (人)		女 (人)	
15~19 歳 (H17.2~H22.1 生)	233			234	
20~24 歳 (H12.2~H17.1 生)	235			236	
25~29 歳 (H7.2~H12.1 生)	237			238	
30~34 歳 (H2.2~H7.1 生)	239			240	
35~39 歳 (S60.2~H2.1 生)	241			242	
40~44 歳 (S55.2~S60.1 生)	243			244	
45~49 歳 (S50.2~S55.1 生)	245			246	

		男 (人)		女 (人)	
50~54 歳 (S45.2~S50.1 生)	247			248	
55~59 歳 (S40.2~S45.1 生)	249			250	
60~64 歳 (S35.2~S40.1 生)	251			252	
65~69 歳 (S30.2~S35.1 生)	253			254	
70~74 歳 (S25.2~S30.1 生)	255			256	
75~79 歳 (S20.2~S25.1 生)	257			258	
80 歳以上 (S20.1 生以前)	259			260	

5 雇用労働力の従事日数の合計

4 ページ「1 農作業（管理労働を含む。）に従事した人数」で回答した雇用労働力の「常雇い(205 及び 206)」「臨時雇い(208 及び 209)」のそれぞれについて、従事日数の合計を記入してください。

	男 (人日)	女 (人日)
常雇いの方の従事日数の合計	263	263
臨時雇いの方の従事日数の合計	265	266

【4】土地

~~農業を行っている方が記入する項目です。~~

耕地 (田・畑・樹園地)

1 土地の状況を記入してください。(土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。また、居住地以外の市区町村にある土地も含みます。)

[illegible]

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。

原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

耕地以外（山林・原野など）

2 山林・原野などの耕地以外の土地で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

		(ha)		(a)	
		(町)		(反)	
耕地以外で利用した 土地面積	284				

ハウス・ガラス室等

3 過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室及び加温温室の**実面積**を、**m²**単位で記入してください。

		(a) (m)		
		(町) (反) (畝)		
ハウス・ガラス室	285			
そのうち、加温温室	286			

- ハウス・ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。
- 水稻の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

【5】農業生産

農業を行っている方が記入する項目です。

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け（栽培）した面積は含めないでください。

稲 麦 雑穀 いも類 豆類 工芸農作物

- 1 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した、稲・麦・雑穀・いも類・豆類・工芸農作物の品目のコード及び延べ面積を田畑別に記入してください。

品目コード		田		畑	
		(ha)	(a)	(ha)	(a)
		(町)	(反)	(町)	(反)
稲	品目コード 291	292		293	
麦	①				
	②				
雑穀	③				
	④				
	⑤				
いも類	⑥				
	⑦				
	⑧				
豆類	⑨				
	⑩				
工芸農作物	⑪				
	⑫				

※1 未成熟の豆類（「えだまめ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「グリンピース」など）は「その他の豆類：503」に含めず、次のページの3の「その他の野菜：191」に記入してください。

※2 「その他の工芸農作物」には、たばこ、いぐさ、ホップ、ごま、ラベンダー、薬用作物などの合計を記入してください。

花き・花木

- 2 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した花き・花木の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。花き苗、花木苗を含みます。

露地作延べ面積		施設作延べ面積		花きの露地、施設面積がある方は、該当する品目すべてに記入してください。			
(ha) (a)		(ha) (a) (㎡)		切り花類	球根類	鉢ものの類	花壇用苗ものの類
(町) (反) (畝)		(町) (反) (畝)					
花き	295	296		300	301	302	303
花木	298	299		✓	✓	✓	✓

野菜 **果樹**

3 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した野菜・果樹類の品目のコード及び延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

品目コード		品目コード		露地作延べ面積		施設作延べ面積		
				(ha)	(a)	(ha)	(a)	(㎡)
				(町)	(反)	(町)	(反)	(畝)
304		305		306				
①								
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								
⑪								
⑫								

野菜		果樹	
だいこん : 101	温州みかん : 201		
にんじん : 102	その他のかんきつ : 202		
さといも : 103			
やまのいも (ながいもなど) : 104	りんご : 203		
	ぶどう : 204		
はくさい : 111	日本なし : 205		
キャバツ : 112	西洋なし : 206		
ほうれんそう : 113	もも : 207		
レタス : 114	おうとう (さくらんぼ) : 208		
ねぎ : 115	びわ : 209		
たまねぎ : 116	かき : 210		
ブロッコリー : 117	くり : 211		
きゅうり : 121	うめ : 212		
なす : 122	すもも : 213		
トマト : 123	キウイフルーツ : 214		
ピーマン : 124	パインアップル : 215		
いちご : 131	その他の果樹 : 216		
メロン : 132	※2		
すいか : 133			
その他の野菜 : 134			
※1			

※1 「その他の野菜」には、「もやし」、「えだまめ」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「にら」、「かぼちゃ」、「アスパラガス」など該当しなかった野菜の合計を記入してください。

※2 「その他の果樹」には、「ブルーベリー」、「イチジク」、「ギンナン(イチヨウ)」、「マンゴー」、「オリーブ」など該当しなかった果樹の合計を記入してください。

○ 果樹類の面積には、未成園を含みます。

その他の作物

4 過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）したその他の作物（1～3に該当しなかった作物）の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

露地作延べ面積		施設作延べ面積	
(ha)	(a)	(ha)	(a)
(町)	(反)	(町)	(反)
その他の作物 308		309	

○ 販売を目的として栽培した水稻苗、野菜苗、果樹苗、造林用の苗木、芝、稲以外の飼料用作物、青刈り作物など、どの欄にも該当しなかった作物の合計を記入してください。

家畜

5 現在、飼っている牛の頭数を目的別に記入してください。

			(頭)				
			万	千	百	十	一
総数			310				
搾乳目的	2歳（24か月齢）以上	311					
	2歳（24か月齢）未満	312					
販売目的	肉用種	子取り用めす牛	313				
		肥育中の牛 （肉用として販売）	314				
		売る予定の子牛など （種おすを含む。）	315				
	乳用種と 交雑種	肥育中の牛 （肉用として販売）	316				
		売る予定の子牛 （肥育用もと牛として販売）	317				
	飼肉 乳つ用と 種いして	肥育中の牛 （肉用として販売）	318				
		売る予定の子牛 （肥育用もと牛として販売）	319				

○ 搾乳する予定のない子牛は、「売る予定の子牛（など）」（315、317、319）に種類ごとに記入してください。

6 現在、販売する予定で飼っている豚の頭数を記入してください。

			(頭)				
			万	千	百	十	一
子取り用めす豚			321				
肥育中の豚			322				

7 現在、卵の販売を目的として飼っている採卵鶏の羽数を記入してください（ひなどりを含みます。）。

			(羽)						
			百万	十万	万	千	百	十	一
採卵鶏			323						

8 過去1年間に出荷したブロイラーの羽数を記入してください。

			(羽)						
			百万	十万	万	千	百	十	一
ブロイラー			324						

きのこ栽培・その他の農業

9 【5】の1から8以外で、販売を目的として、きのこの栽培やその他の農業経営を行っていますか。該当するものすべてに記入してください。

	きのこ栽培	馬の飼養	羊の飼養	やぎの飼養	地鶏の飼養	養蜂	養蚕	その他の農業経営
325	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

「その他の農業経営」を行っている場合は代表的な品目を記入してください。

326

○ 「その他の農業経営」は、7ページから本ページまでの内容以外のものがある場合に回答ください。

【6】過去1年間の農産物の販売

農業を行っている方が記入する項目です。

- 1 過去1年間の農産物の販売金額（売上高）について、該当するもの**1つに必ず記入**してください。

販売なし	331
50万円未満	✓
50万～100万円未満	✓
100万～300万円未満	✓
300万～500万円未満	✓
500万～1,000万円未満	✓
1,000万～3,000万円未満	✓
3,000万～5,000万円未満	✓
5,000万～1億円未満	✓
1億円以上	✓

販売金額には、売上金額を記入してください（肥料代、農薬代などの経費を引かない。）。

- 2 過去1年間の販売金額が上位3位までの部門について、該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

	部門コード	割合(割)
1位部門	333	334
2位部門	335	336
3位部門	337	338

部門コード

水稻・陸稲	: 01
麦類	: 02
雑穀・いも類・豆類	: 03
工芸農作物	: 04
露地野菜	: 05
施設野菜	: 06
果樹類	: 07
花き・花木	: 08
その他の作物	: 09

酪農	: 10
肉用牛	: 11
養豚	: 12
養鶏	: 13
養蚕	: 14
その他の畜産	: 15

「1億円以上」の場合は、1億円単位で金額を記入してください。

332	(億円)
-----	------

- 3 過去1年間に農産物を販売した**すべての出荷先**を記入し、さらに売上1位の出荷先を記入してください。

消費者に直接販売										その他へ
農協へ	集出荷団体へ	農協以外の市場へ	小売業者へ	外食産業へ	食品製造業へ	直売所へ	自営の農産物	その他の農産物	インターネット	他の方法で
該当するすべてに										
339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	
出荷先	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
うち売上1位の出荷先（1つに）										
第1位の出荷先	349	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓

○「消費者に直接販売へ」には、自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。

○「その他の農産物直売所へ」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

- 4 過去1年間に生産した**農産物を輸出している場合は該当するものすべてに記入**してください。また、輸出した農産物の販売金額又は数量を把握している場合は、上記1に記入した農産物の**販売金額に占める輸出向けの割合を記入**してください。なお、輸出していない場合は、「輸出していない」のみに記入してください。

	金額を把握している	350	✓	販売金額全体に占める輸出向けの割合	354	百	十	一	%
輸出している	金額は把握していないが数量を把握している	351	✓	販売金額全体に占める輸出向けの割合（※数量換算）	355				%
	金額と数量のどちらも把握していない	352	✓						
	輸出していない	353	✓						

※金額は把握していないが数量を把握している場合、すべての販売数量に占める輸出向けの数量の割合から輸出向けの金額の割合に換算して記入してください。

輸出しているには、以下のような場合が該当します。

- ①自ら生産した農産物を、海外の卸売業者、レストラン、スーパーなどの小売業者や消費者等に直接出荷（輸出）した場合
 - ②自ら生産した農産物を、輸出を目的として農業協同組合、貿易商社、卸売事業者等に出荷した場合
- ※輸出を目的としては出荷していなかったが、出荷先において輸出されたことを確認している場合も含む。